



FLOW®

**FLOW® HIVE
使用マニュアル**

このマニュアルは Flow Hive および Flow Frame の設置と使用についての詳しい説明です。この革新的な養蜂方法の世界へようこそ。Flow Hiveと興味深いミツバチの世界についてより深く知るには、弊社のウェブサイトを訪れてたくさんの動画を視聴するかまたは情報やフォーラムにアクセスしてください。フィードバックやFlow Hiveの使用体験談はいつでも歓迎です。#flowhive のハッシュタグをつけるか、または info@honeyflow.com までご連絡ください。利用者には Accredited First Aid 制作、Flow支援のBeekeeping Safetyパンフレットに記された情報に精通していただく必要があります。

www.accreditedfirstaid.com.au/beekeeping-safety

楽しい養蜂を!

honeyflow.com
honeyflow.com.au
eu.honeyflow.com
ru.honeyflow.com

Flowウェブサイトでの購入に関する条件は、すべてのFlow製品の受領と使用に適用されます。購入者はこれらを注意深く読み、自身の責任と自身のFlow製品に適用される保証について理解しなくてはなりません。

目次

1	一般的な注意	2
2	安全に関する注意	3
3	FLOW® HIVEの部品	4
4	FLOW FRAMEをFLOW SUPERに合うよう調節する	7
5	FLOW HIVEの構成	9
6	FLOWの仕組み	10
7	FLOW FRAMEから採蜜する	12
8	FLOW FRAMEの手入れ	15
9	その他の必要品	17
10	FLOW HIVEの設置場所	18
11	ハチを入れる	19
12	ハチミツの処理と保存	20
13	巣の健康状態を監視する	20
14	養蜂を成功させるためのさらなる技術	21
15	トラブルシューティング	22



1 一般的な注意

養蜂には専門的スキルが必要で、危険が伴い、規制の対象である場合もあります。

ミツバチは野生昆虫です。非常に組織的で尽きることのない魅力があり、扱いには心配りと敬意、そして注意が必要です。

学ぶ: あなたが養蜂初心者であれば、安全に養蜂を成功させるために身につけるべきスキルがたくさんあります。巣箱にハチを入れる前に養蜂講座を受けることを強くおすすめします。また学習を続けることも推奨します。上級講座を受けたり、地域の養蜂協会に参加したり、他の養蜂家たちとつながりを持つことをおすすめします。

規則に従う: 養蜂に関する規制やガイドラインは様々です。地方自治体、地方と州の第1次産業当局、農業当局に相談し、また最寄りの養蜂協会と連携して、自身の区域での要件を確認しましょう。養蜂を禁止または制限している区域や、巣箱の登録が必要な区域もあります。

リスクを理解する: ハチは人やペット、その他の動物を刺すことがあります。必ずリスクを理解し、予防措置をとってください。詳しくは「安全に関する注意」をご覧ください。

! このマニュアルの情報は一般的なガイドのみで、完全なものではなく、あなたの環境には当てはまらない可能性があります。具体的な支援は、地方自治体、プロのサービス、または最寄りの養蜂協会でお求めください。

責任をとる: 私たちは世界的な養蜂家コミュニティです。私たちがよい結果を得るには、一人一人が責任ある行動をとってハチや周囲の人間やペットの安全性、幸福、健康を維持しなくてはなりません。もし近隣住民がいる場合は特に配慮と情報提供が大切です。

その他の情報源: www.honeyflow.com にはすべての答えが掲載されているわけではありませんが、情報探しを始めるにはとてもよいサイトです。

- 詳細なFAQは www.honeyflow.com/faqs をご覧ください。
- forum.honeyflow.com で仲間のFlow養蜂家と話したり質問したりしましょう。
- 弊社のブログ www.honeyflow.com/blog もチェックしてください。
- 弊社の説明動画 www.honeyflow.com/beginner-videos をご覧ください。

2 安全に関する注意

養蜂家はみんないつかはハチに刺されるものです。養蜂を始める前にAccredited First Aid Beekeeping Safetyパンフレットを読む必要があります。以下の事柄に関連する安全予防と応急処置について理解するのに役立ちます:

- ハチ刺され
- 燻煙器の安全な使用
- 安全な持ち上げ

ハチを取り扱う時は常に養蜂用防護服と燻煙器を使用することをおすすめします。

! ハチ刺されと応急処置に関する情報についてはこちらをご覧ください
www.accreditedfirstaid.com.au/beekeeping-safety

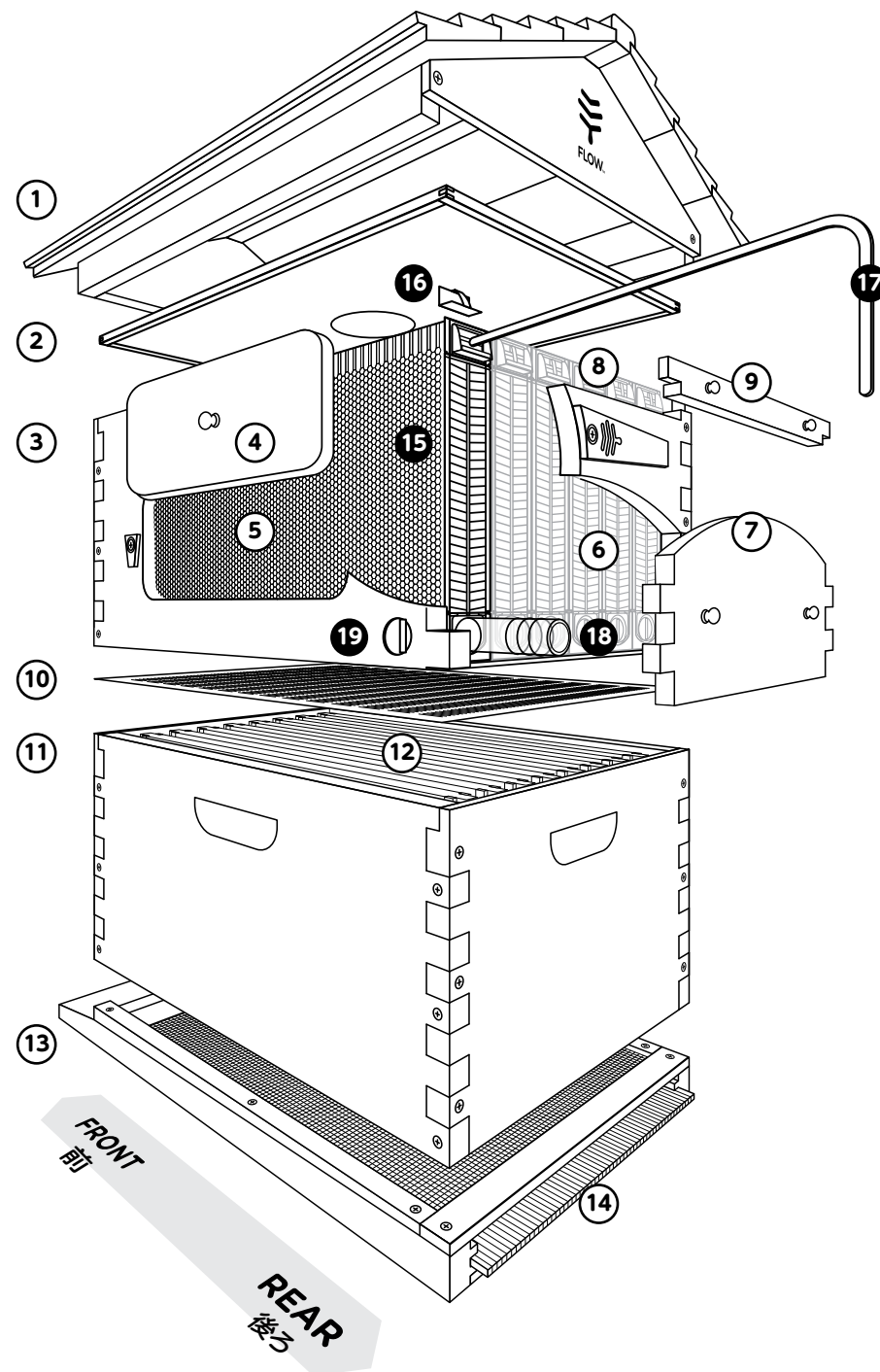
3 FLOW® HIVEの部品

FLOW HIVE

- ① FLOW HIVE 屋根
- ② 内部カバー
- ③ FLOW SUPER
- ④ 観察窓カバー
- ⑤ 観察窓
- ⑥ 後部窓
- ⑦ 後部窓カバー
- ⑧ フローキーアクセススロット
および キャップ
- ⑨ フローキーアクセスカバー
- ⑩ 隔王板
- ⑪ 幼虫箱
- ⑫ 幼虫フレーム
- ⑬ 遮蔽底板
- ⑭ プラ段スライダー

FLOW FRAME

- ⑮ FLOW FRAME
- ⑯ フローキーアクセスキャップ
- ⑰ フローキー
- ⑱ 蜜チューブ
- ⑲ 蜜といキャップ



部品名リスト

幼虫箱：卵を産み付けける巣を入れる巣箱の一部。卵は孵って幼虫になり、その後さなぎとなりハチとなります。

Flow Super：Flow Frameを入れるために改変を加えた蜜を集めるための巣箱です。ハチの巣の上に置く箱で、ハチはほとんどの蜜をこの中に集めます。通常、幼虫箱の上に設置されます。

Flow Frame：内蔵型のハニカムフレームでFlow Super 内に取り付けられます。特許取得済みの「分割巣房」技術で養蜂家は巣箱を開けずに採蜜できます。

フローキー：スチール製の長い棒で、これをフローキーアクセススロットへ入れてFlow Frameを動かします。

フローキーアクセススロット：各Flow Frameの上にある長方形の穴で、ここにフローキーを入れてFlow Frameを動かして採蜜します。

蜜とい：巣から出た蜜が流れる、Flow Frameの底部にある筒型のといです。

蜜チューブ：採蜜時に蜜といに差し込むチューブです。

蜜逆流ギャップ：Flow Frame後部の蜜といの開口部を見ると、部品が一直線にそろっていないように見えるのが気つくでしょう。内部の黄色がかったプラスチック部品と透明なFlow Frameの端の間にギャップがあります。この逆流ギャップにより、採蜜後に残った蜜が巣箱の中へ流れて戻ります。ハチがそれをきれいにしていきます。

巣箱前面：ハチの入口がある面です。丈夫な壁でできています。

巣箱後部：ハチの入口の反対側にあり、ほとんどの巣がある面です。通常、こちらからスロットと蜜といによってFlow Frameの透明な端から採蜜を行うことができます。

4 FLOW FRAMEをFLOW SUPERに合うよう調節する

Flow Superを巣箱の上に設置する前に、各Flow Frameを個別に調節する必要があります。これによりFlow Frameが正しく機能するようになります。

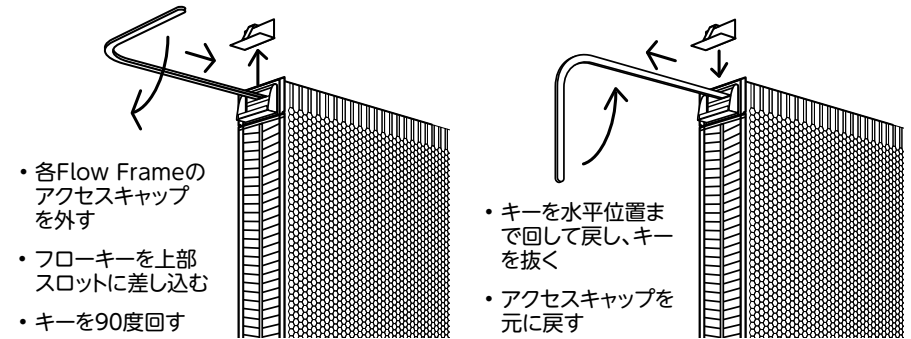
ワイヤーの張りを確認する

ぴんと張っていないければなりません。緩んでいる場合は以下で説明動画をご覧ください。
www.honeyflow.com/troubleshooting-frames

ハチを入れるためにFlow Frameをリセットする

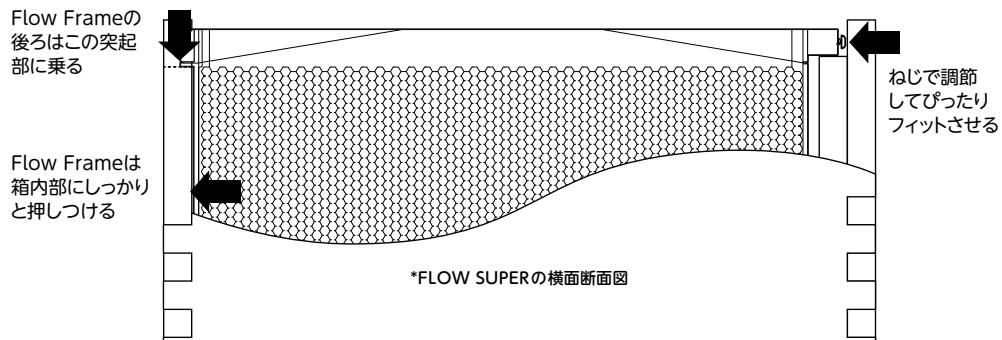
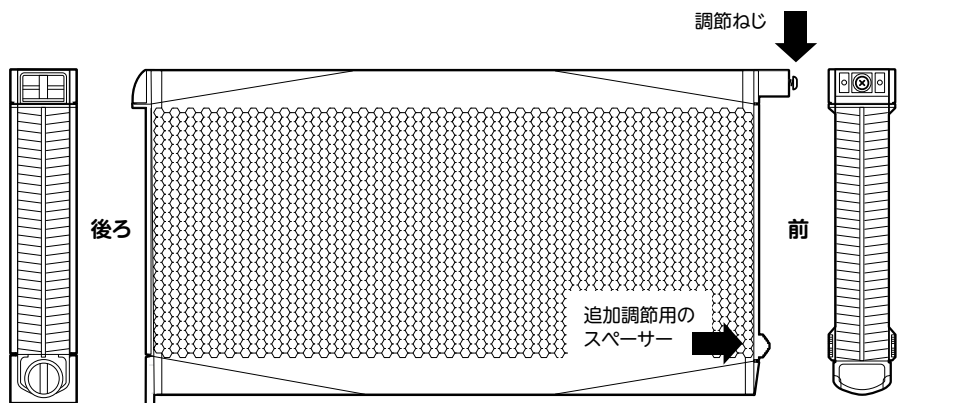
設置前に巣箱の外でフレームの仕組みをテストすることをおすすめします。Flow Frameの仕組みの理解に役立ちます。

重要：ハチが巣房を完成させることができるよう、Flow Frameが「閉じる」にリセットされていることを巣箱内への取り付け前にお確かめください。

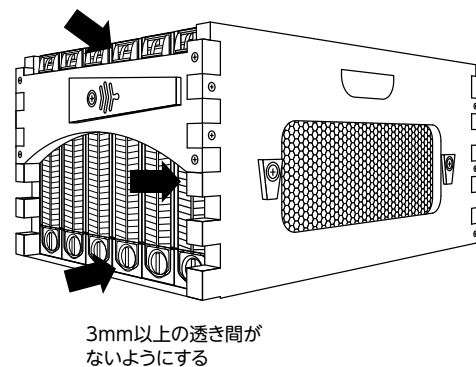


Flow Superに合うように各Flow Frameを調節する

- 各Flow Frameの前後を確認します。
- Flow Frameは図のようにFlow Superに設置します。調節ねじを締めるか緩めるかしてFlow Frameの後部（窓側の端）を巣箱の後壁にしっかりと押しつけるようにします。このようにしてすべてのFlow Frameを並べるとはっきりとした後部の窓が形作られます。
- Flow FrameをFlow Superに組み入れます。Flow Frameがぎつくと詰め込まれた状態にします。
- ハチが巣箱の後部から逃げないように、後部窓の透き間が3 mm (1/8インチ) 以下であることを確認します。*



Flow Frameを調節して正しくフィットさせると、各Flow Frameの背面が並んで平らな“窓”をつくりだします。Flow Frameは前後、左右にほとんど動かないようぴったりとフィットさせ、3mm (1/8インチ) 以上の透き間がないようにします。



警告： Flow Superを巣箱に設置する前に3mm以上の透き間がないか確認してください。

5 FLOW HIVEの構成

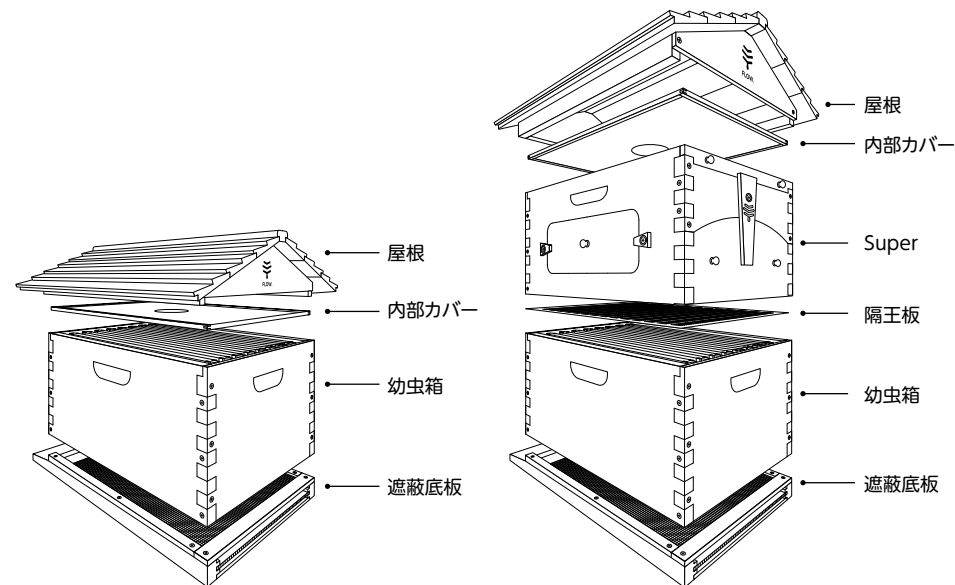
FlowSuperは蜜を集めるための巣箱であり、通常の巣箱と同様に管理する必要があります。群れが強くなり確立された時にのみ、FlowSuperを設置しましょう。ハチはすぐにはFlowFrameを気に入らないかもしれません。私たちはハチがFlowFrameに初めて入る確率を上げる2つの主な条件に気づきました。それはそのFlowFrameにたくさんのハチがいることと、優れたネクターフローです。ハチのFlowFrame入りの促進に関する提言については以下をご覧ください。
www.honeyflow.com/troubleshooting-bees

群れを育て始めるとき

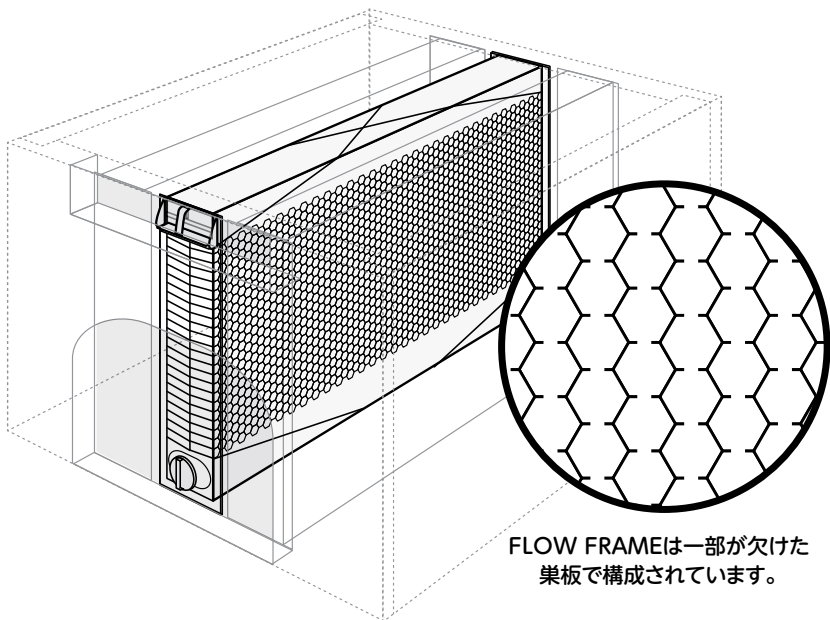
ハチの数が増え、幼虫用の巣房づくりを行う間に、幼虫箱、幼虫フレーム、内部カバー、屋根付きの巣箱を設置します。内部カバーのフィーダーホールを遮蔽網または木片でふさぎ、ハチが巣房を屋根につくるのを防ぎます。プラ段スライダを巣箱底の下側のスロットに入れます。これは採蜜時に上部のスロットに移動させることができます。

群れが確立されたら

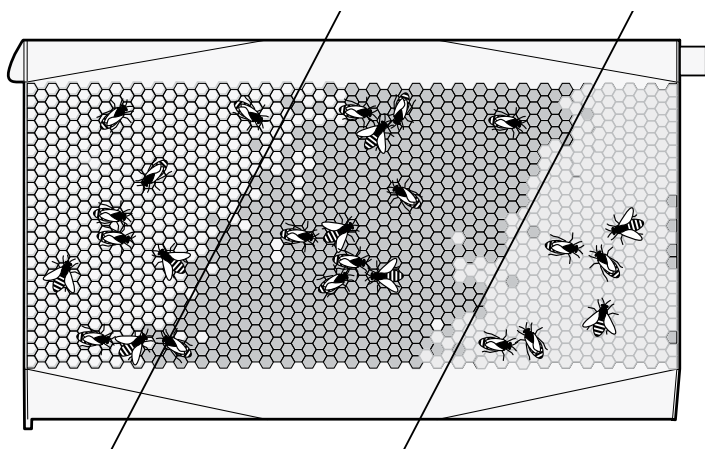
群れが強くなり確立されたらFlow Superを設置します。内部カバーはFlow Superの上に置きます。いったん群れが確立され大きくなったら、追加の幼虫箱またはFlow Superを設置することも可能です。寒い地域では特に重要かもしれません。地元の養蜂クラブに地域特有のアドバイスを求めましょう。



6 FLOWの仕組み



FLOW FRAMEは一部が欠けた
巣板で構成されています。



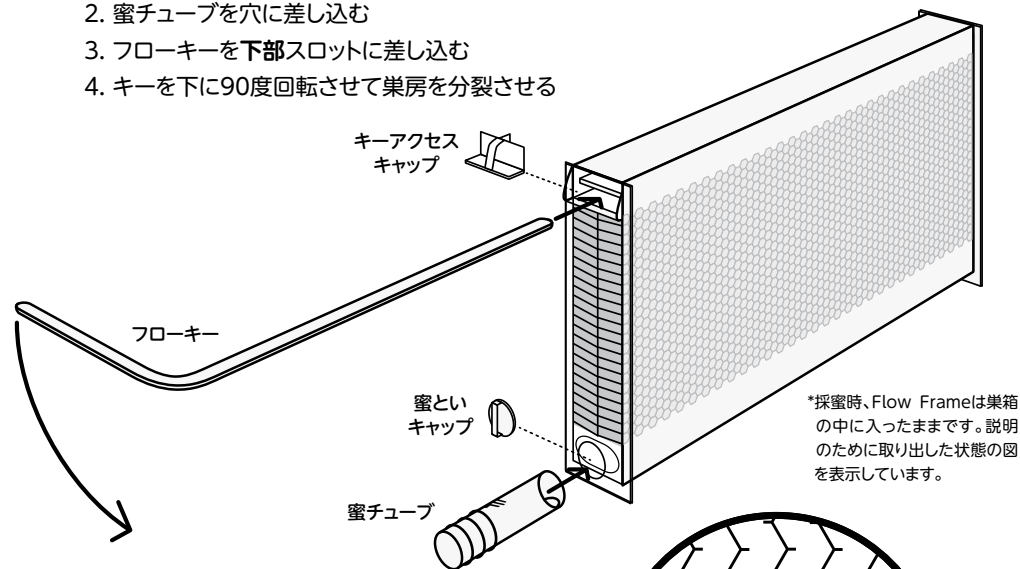
ハチは蜜蝋で
巣板を完成させる

その後、巣房を
蜜で満たす

最後に巣房に
ふたをする

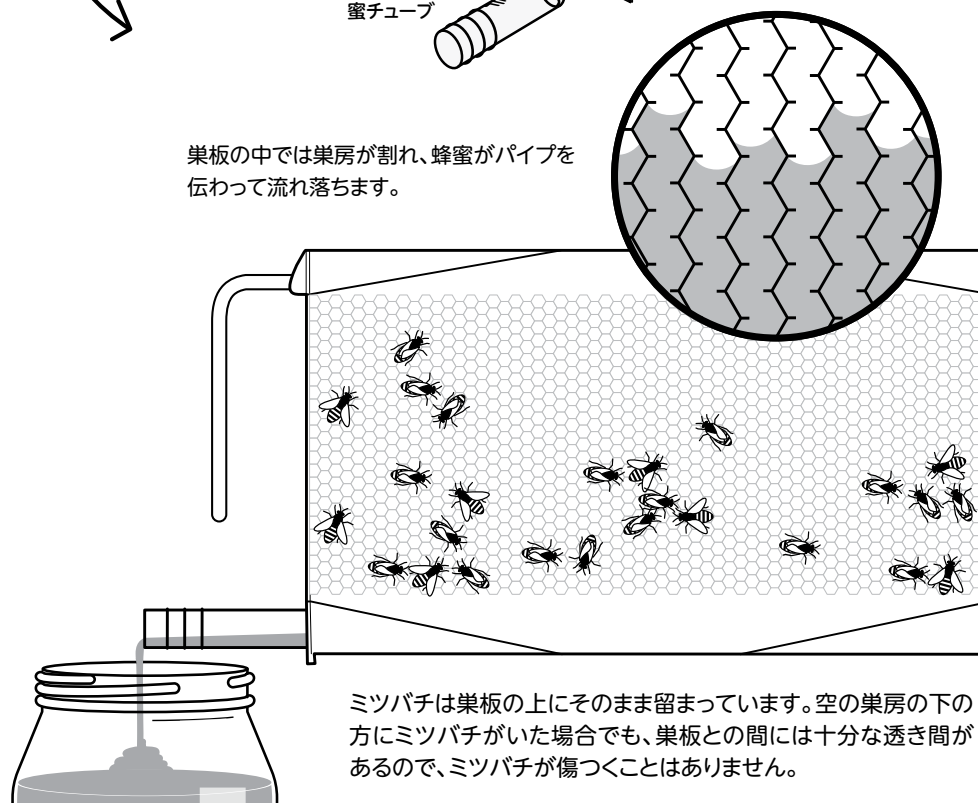
Flow Frameがいっぱいになったら採蜜の時です

1. キーアクセスキャップと蜜といキャップを取り外す
2. 蜜チューブを穴に差し込む
3. フローキーを下部スロットに差し込む
4. キーを下に90度回転させて巣房を分裂させる



*採蜜時、Flow Frameは巣箱
の中に入ったままです。説明
のために取り出した状態の図
を表示しています。

巣板の中では巣房が割れ、蜂蜜がパイプを
伝わって流れ落ちます。



ミツバチは巣板の上にそのまま留まっています。空の巣房の下の方
にミツバチがいた場合でも、巣板との間には十分な透き間がある
ので、ミツバチが傷つくことはありません。

7 FLOW FRAMEから採蜜する

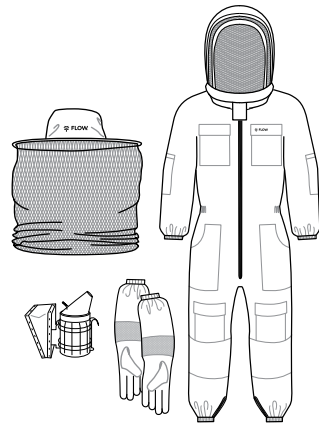
採蜜のタイミングは、地域の状態とあなたの地域のネクターフローによります。ハチは手に入る花蜜がない時期を乗り越えるためにハチミツを必要とします。ハチミツを抜き取るのは、ハチが貯蔵蜜を補充するのに十分なネクターフローがある暖かい時期だけにしなくてはなりません。

冬の間に残しておくハチミツ入りFlow Frameの数は、あなたが養蜂を行う地域の気候によります。群れにどのくらい残すか、地域の養蜂家に相談してください。Flow Frameではいつでも非常に簡単にフレーム内の蜜の量を確認できます。そのためどのくらい採蜜してどのくらいハチのために残すかという管理を学ぶことができます。

Flow Frameは採蜜プロセスの骨折り仕事のほぼすべてを無くしてくれますが、覚えておくべき大切なポイントがいくつかあります…。

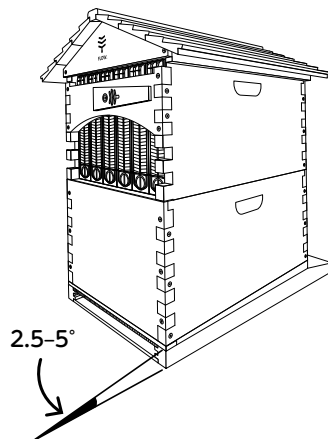
1. 巣に近づくときは常に防護服を着用し、手に燻煙器を持つ

養蜂家は誰でもいつかはハチに刺されるものです。養蜂スーツとその他の防護用品の使用はハチ刺されのリスクを最小限にします。また養蜂作業を始めるときは常に燻煙器を使用しなくてはなりません。スーツを着ていても、さらには燻煙器を使用していてもハチに刺されることは珍しいことではありません。そのためすべての養蜂家は適切な応急処置に精通していることが重要です。詳しくはAccredited First Aid Safetyパンフレットをご覧ください。



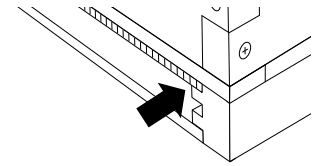
2. 蜜の取り出し口のほうに巣箱が傾斜しているか確認する

T巣箱は蜜の取り出し口のほうに2.5~5度傾斜している必要があります。水平器、スマートフォンのアプリ、または目視で蛇口のほうが下がっているか確認することでチェックできます。Flow Hive Classicキットは底板に傾斜がついているため、平らな地面に設置されているかぎり傾斜について心配する必要はありません。



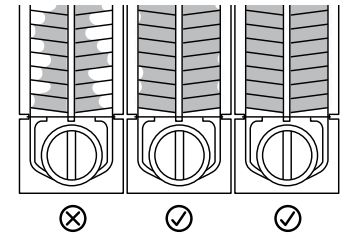
3. 底板のプラ段が上部スロットに入っていることを確認する

上部スロットはプラ段をメッシュに対して押し上げ、蜜の滴が発生してもそれがハチに届く範囲に残るようにします。ハチが蜜をなめて再び利用してくれます。硬い底板をお持ちであれば、このステップは無視してください。



4. 採蜜しようとする各Flow Frameが採蜜できる状態かどうか、ふたがされているかどうか確認する

Flow Frameの端を見てください。巣房がほとんどいっぱい蜜でふたがされていれば採蜜できる状態だというしるしです。群れがどのようにFlow Frameを利用しているかを知る一番の方法は(燻煙器と防護服を使って)Flow Superを開けて、初めの数回の採蜜前にFlow Frameを確認することです。

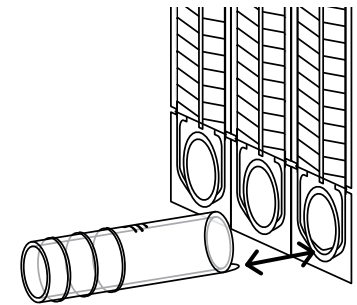


5. カバーとキャップを外す

Flow Frameのキャップは固くフィットしていることがあります。フローキーの端を使って外すことができます。

6. チューブが正しく差し込まれていることを確認する

チューブの端の小さなタブがFlow Frameに入り蜜逆流ギャップを塞ぎます。しっかりと穴に差し込んでください。

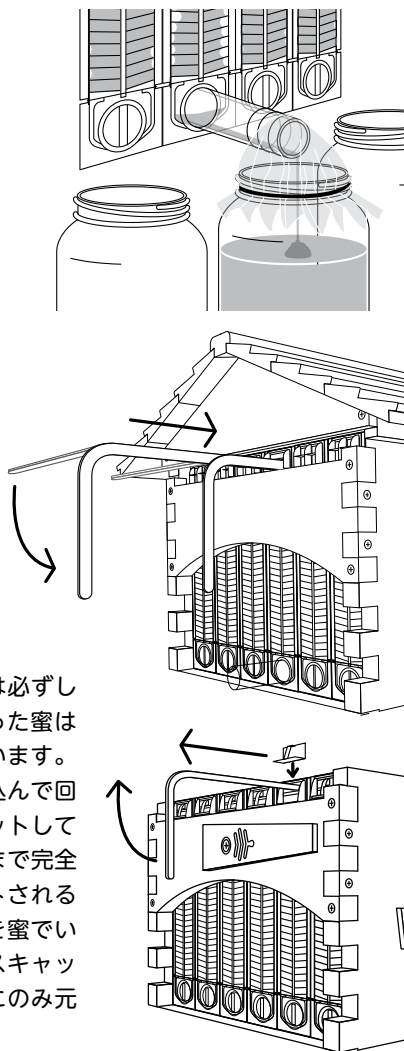


7. 蜜を入れるのに十分なサイズの容器とふたを用意する

各Flow Frameには最大で2.3L(2.4クォート)または3.2kg(7ポンド)の蜜が詰まっています。ハチが蜜に集まってくる場合に備えて、採蜜中に容器を覆うネット、キッチンラップ、布を使用することができます。

8. 採蜜する

各Flow Frameには上部に2つのキーアクセススロットがあります。採蜜するときはフローキーを下側のスロットに差し込みキーを後ろまで押し込んだら90度回します。大抵の場合、数分で蜜が蜜チューブに流れてくるでしょう。蜜がほんの少しずつ流れてくるようなら、上記の手順を繰り返して巣房が開いていることを確認します。1つのFlow Frameから蜜を取り出すのに20分～2時間以上かかるでしょう。時間は気温と蜜の粘度によります。フローキーを回すのが困難な場合もあります。その場合はFlow Frameを段階的に開いてもいいでしょう。キーを途中まで差し込み、回し、それからさらに差し込んでまた回します。



9. Flow Frameをリセットしてキャップを元に戻す

Flow Frameからすべての蜜を取り出す必要は必ずしもありません。蜜といのある設計なので、残った蜜は巣に逆流してハチが利用できるようになっています。採蜜後にフローキーを上側のスロットに差し込んで回すことで巣房を閉じて、Flow Frameをリセットしてください。フローキーをFlow Frameの後ろまで完全に押し込んで、Flow Frameが完全にリセットされるようにしてください。ハチは開いている巣房を蜜でいっぱいにすることはありません。キーアクセスキャップはFlow Frameが「閉」の位置にある場合にのみ元に戻すことができます。

注意

- ハチミツには吸湿性があります（水分を引きつけます）。ハチミツ容器を長期間開けたままにしないでください。
- ハチに巣箱の外のハチミツを食べさせないでください。盗み行動を助長し、病気を広げる可能性があります。採蜜中はハチミツ容器をカバーし、こぼれたものは水できれいにしてハチやアリが寄ってこないようにしてください。

8 FLOW FRAMEの手入れ

クリーニングとFlow Frameのメンテナンス - 巣箱の上で

採蜜前にFlow Frameの底にある蜜といを確認します。蜜といのある設計なので、残った蜜は巣に逆流してハチが利用できるようになっています。蜜逆流ギャップがきれいなら、うまく機能しています。ですがもしハチがこれを妨げている場合は採蜜後に蜜がいくらか蜜といに残っている可能性があります。逆流ギャップは、採蜜前と通常の点検中にキャップまたは蜜チューブを蜜とい開口部の中で前後にひねってきれいにしておいてください。必要であれば採蜜前に蜜といは巣箱の外から長い柄のボトルブラシやフローキーの柄に長さのある布を巻いたもので掃除することができます。

Flow Frameを収納する前にすべきこと

私たちの経験によると、巣箱に入れておく場合はFlow Frameの掃除は必要ありません。ハチたちがきれいに掃除をしてくれます。ですが、保管のためにFlow Frameを取り外す場合は、少なくとも蜜は取り除いておくのがいいでしょう。温水(最高で65°C/150°F)を使うことができます。巣板を“巣房を開く”位置にセットします。これにより温水がFlow Frameのあらゆる部分に簡単に流れます。収納前に、完全に乾かしてください。収納前にプロポリスと蜜蝋を取り除く必要はありません。取り外した巣板への蜜蝋による被害を防ぐために、Flow Frameを48時間凍らせて蛾の卵と幼虫を殺してから封をした容器に収納して保管してください。Flow Frameを巣箱の外で保管する場合は、短時間であっても日光を避けてください。Flow Frameは紫外線の影響を受けやすいためです。Flow Frameは涼しく乾燥していて暗い場所に保管してください。Flow Frameの掃除とメンテナンスについては forum.honeyflow.comでのフォーラムにご参加ください。

滅菌

アメリカ腐蝕病などの病気には用具の滅菌が必要です。滅菌方法の一つに照射殺菌があります。照射殺菌の技術的仕様については弊社のウェブサイトをご覧ください。大量の照射、または繰り返しの照射はFlow Frameを傷めます。滅菌方法の詳細については www.honeyflow.com/faqsのFAQをご覧ください。

警告

- 強い力を加えないでください。詰まりが発生したら、繰り返し優しく動かして緩めてください。それでも詰まっている場合は弊社にご連絡ください。
- Flow Frameを曲げないでください。Flow Frameがバラバラになる原因となります。バラバラになった場合は組み立て直すことができます。詳しい説明は www.honeyflow.com をご覧ください。
- Flow Frameを長時間日光にさらさないでください。
- Flow Frameを高温下に置かないでください。(使用中の巣箱の中であれば、ハチが温度を一定に保ってくれます)。
- 推奨されていない化学溶剤を使わないでください。推奨品については honeyflow.com のFAQをご覧ください。
- Flow Frameにガスバーナーや火器を使用しないでください。
- 最新の照射殺菌に関する情報は弊社のウェブサイトを参考にしてください。

これらの勧告に従うことで、Flow Frameの寿命が大幅に延びるでしょう。



9 その他の必要品

(追加の用具は弊社のウェブサイトでご購入いただけます)

保護用具 - 養蜂ハットとベールまたは養蜂スーツ/ジャケット、手袋

ハチを扱うときはいつでも保護スーツを着用することをおすすめします。詳しくはAccredited First Aid Beekeeping Safetyパンフレットをご参照ください。

Flow Hybridパッケージ用の追加 Langstrothフレーム

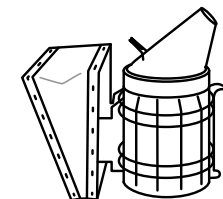
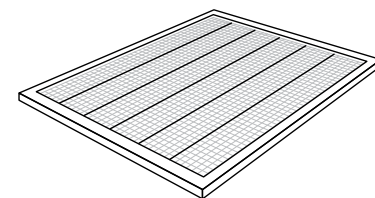
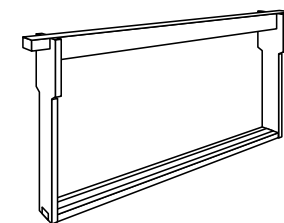
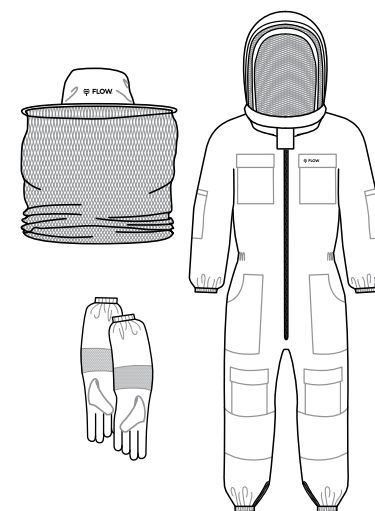
Flow Hybridパッケージをご購入した場合、巣箱を完全にいっぱいにするために4つのスタンダードフレームを追加する必要があります。ハチのために巣箱いっぱいのフレームを用意することが重要です。でないと、フレームの横の空いているスペースにハチがburr combと呼ばれる自由な形の巣をつくってしまいます。そうすると採蜜が非常に困難で厄介になり、簡単にFlow Frameを取り外すことができなくなります。

隔王板

隔王板の使用をおすすめします。隔王板は蜜を集める巣箱に女王蜂が入り込んで卵を産むのを防ぐメッシュパネルです。これにより蜜を集める巣箱が幼虫に汚染されるのを防ぐことができます。

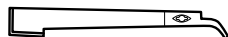
燻煙器

燻煙器は巣に邪魔が入ったときに防御行動を低減させます。養蜂を行うときは常に手に燻煙器を持ち、巣箱を開けたり中を確認したりするときにはそれを使用することをおすすめします。Accredited First Aid Beekeeping Safetyパンフレットに安全な燻煙器の使用法について書かれています。



Hiveツール

Hiveツールはスチール製の多機能ツールです。フレームを持ち上げて取り外したり、てこの原理を使って箱を持ち上げたり、巣からburr combをはがして取り除くのに使ったりします。



10 FLOW HIVEの設置場所

ハチを入れる前に新しい巣箱の設置場所を考えることが重要です。牧草地、庭、屋根に気楽にあちこち移動させることはできません。ハチは非常に発達したナビゲーション能力を持っています。巣が移動するとハチは混乱し、元々巣のあった場所に戻ってしまいます。ハチが巣を使い始めたあとで巣箱を移動させるためのアドバイスについては、養蜂関係の本、honeyflow.comのフォーラム、地域の養蜂協会に相談してください。

巣箱の設置場所を選ぶ際、新しい巣箱、ハチ、近所の住民、そしてあなた自身にとって大切なことが3つあります。

巣箱の位置は群れの総合的な強さに影響します。保護された場所を選びましょう。寒い地域では乾燥した日当たりのいい場所を探します。暑い地域では少し陰になった場所のほうが巣にとっていいでしょう。特に夏はそうです。巣箱の入口は強い風が吹き込まない方向にしましょう。巣の入口は北半球では南側、南半球では北側にするのが理想的です。巣箱を設置するときに覚えておくべき重要な注意事項について、Accredited First Aid Safetyパンフレットを必ずお読みください。

その他の注意点

- ハチは巣から15メートルの距離に排泄物を排泄します。小さなオレンジ色の点のような見た目、洗濯物、地面、薄い色の車などを汚す可能性があります。このようなことが起こらない位置に巣箱を設置してください。飛行経路が庭のやや使われているエリアの上であったり、屋根の上であったりするように設置するのはいいアイデアでしょう。
- 巣箱は安定させて置かなくてはなりません、グラグラしたりせず、安定した土台の上に置き、群れを扱うときに楽にアクセスできなくてはなりません。スタンドの上に巣箱を置くことで、土台の木が腐るのを防ぐことができ、アクセス性もよくなります(レンガ、コンクリートブロック、スチール製ポストなども選択肢です)。
- 採蜜中、巣箱は蜜の取り出し口のほうに2.5~5.0度傾斜していなくてはなりません(約15mm (1/2インチ) の傾きで十分です)。Flow Hive Classicキットには組み込み

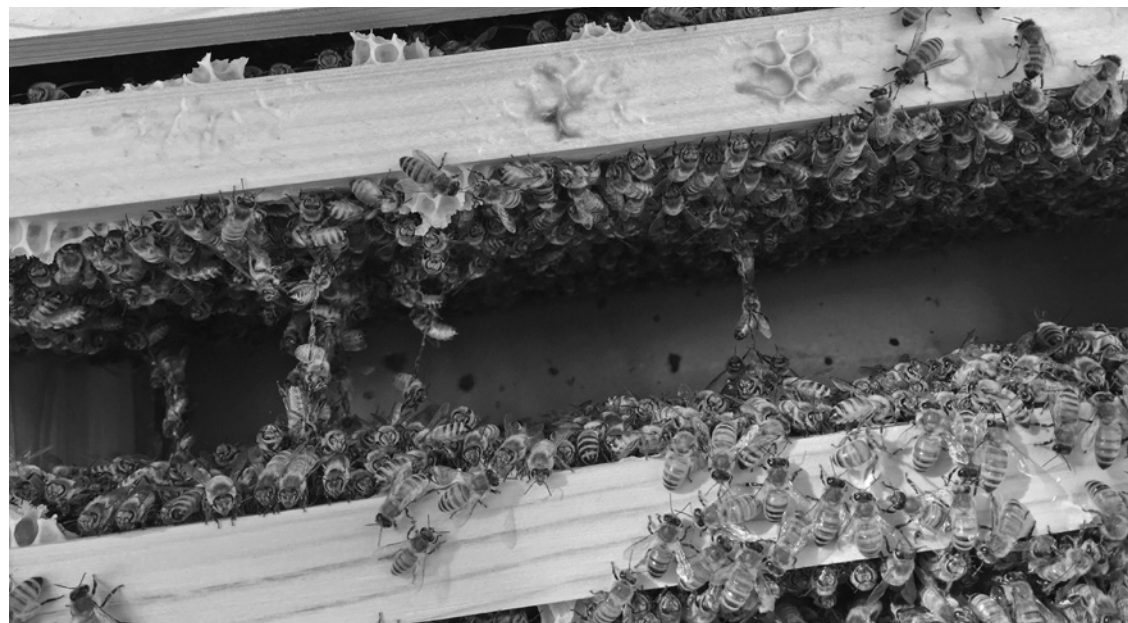
式のスロープがついているため、水平な面に置いてあるかぎり、傾斜について心配する必要はありません。

- そうでなければ次の2つの選択肢があります。
 1. 採蜜時に巣箱を傾けます。傾けることでハチが興奮する可能性があるため、防護服を来て燻煙器を持って採蜜の数時間前に傾けておきます。
 2. 常に斜面の上に置いておきます。逆方向に傾斜させる場合、水が巣箱の前に入らないように注意することが重要です。

11 ハチを入れる

ハチはめったに空の巣箱に入りません。たとえそれがハチにとって完璧な巣としてつくられていてもです。群れを始めるにはたくさんの方がいます。ほとんどの国で、小集団の群れを養蜂業者から買うことができます。地域のアマチュア養蜂家クラブまたは地域/州の養蜂協会に相談してください。あなたにとって最適な選択肢についてさらにアドバイスがほしい場合は地域のアマチュア養蜂家クラブまたは地域/州の養蜂協会にご相談ください。

⚠ 警告: 巣箱にハチを入れる前に、保護スーツと手袋を必ず着用してください。また巣箱の入口以外からハチが逃げられないことを確認してください。3mm以上の透き間がないことをご確認ください。



12 ハチミツの処理と保存

Flow Frameからとれたハチミツには、それ以上の処理は必要ないはずですが、汚染が発生した場合、ハチミツを濾過することもできます。キッチン用品店で細かい網目の漉し器を購入することもできますが、清潔なストッキングが濾過に非常に役立ちます。清潔で乾いた容器の上にストッキングを固定してハチミツを濾過します。ハチミツは清潔で乾いた空気を通さない容器で保存します。時間がたつと結晶化し固まることがあります。結晶化したハチミツを食べても問題ありません。温水で容器を徐々に温めることで液体化させることもできます。

13 巣の健康状態を監視する

定期的に巣の健康状態を監視することが重要です。Flow Frameは採蜜を楽にしますが、その他の巣の世話についてはすべて依然として行う必要があります。それには害虫、病気の監視や管理、分封群のコントロールなどが含まれます。

巣を適切に監視して病気を察知するには幼虫箱に健康な幼虫がいるか確認する必要があります。監視の頻度はあなたが養蜂を行う場所によります。地域ごとの情報については地域の養蜂クラブまたは第1次産業/農業当局に相談してください。群れが弱くなった場合は必ず巣箱を調べます。Flow Hiveの巣箱はすべて合わせると重いため、調べる前にいくらかハチミツを取り出さか、別の養蜂家の手を借りて巣箱を持ち上げてください。後部窓カバーを取り外すことで手を掛けることができ、持ち上げるのが楽になります。Flow Frameの透明な端を観察することで、巣の中を確認したり群れの強さや健康状態を判断する助けになります。健康な群れは活動的なハチで程よく混み合っています。季節を通して巣箱とその働きを知るためにこのお手軽な観察窓を利用することをおすすめします。



14 養蜂を成功させるためのさらなる技術

あなたが養蜂初心者である場合、ハチを安全に上手に飼うために身につけてはならない技術がたくさんあります。ハチを巣箱に入れる前に養蜂講座を受けることを強くおすすめします。これから養蜂を行うのに役立つ実践的な技術を以下に挙げます。

必須となる技術

- Accredited First Aid beekeeping safetyパンフレットに記載されている基本的な応急処置の理解と適用
- 燻煙器のオン・オフの方法
- 巣箱の開け方、確認の仕方、閉じ方

高度な技術

- 巣の健康問題と伝染病を識別し、管理する
- 分封群のコントロール
- 女王蜂の更新
- 巣箱の移動

地域の養蜂クラブに参加することは、熱心な養蜂家と出会い情熱を共有するすばらしい方法です。ハチを大切にすればハチも私たちを大切にしてくれることをお忘れなく。ハチミツは本当にすばらしい贈り物です。

15 トラブルシューティング

Flow FrameをFlow Superにぴったりと並べることができない

各フレームを隣りのフレームとぴったりくっつけて置き直してください。後部窓がそれぞれぴったりと収まるようにしてください。取り外したり、薄くするためにカットしたりできる梱包用のひもがついている巣箱もあります。2mm (1/8インチ)以下の透き間は許容範囲です。そのくらいの透き間からはハチは逃げられず、そのうちにハチによって塞がれます。

Flow FrameをFlow Superの前後の壁の間に並べることができない

Flow Frameを調節する必要があるかもしれません。フレーム前部の調節ねじを締めてください(本マニュアル第5章を参照)。さらに調節するにはFlow Frame前部のタグ/スパーサーを調節してフレームが箱に入るようにします。

ハチがなかなかFlow Frameに入らない

- ハチをFlow Superに集中させるため、その他の巣箱を取り除きましょう。
- 蜜蝋をいくつかFlowの巣板に押し入れましょう。burr combの塊、蜜蝋の基礎、蜜蝋のふたを使うことができます。
- 蜜蝋を温めてFlow Frameの表面に塗ります。巣房の底または上部の可動装置に蜜蝋がつきすぎないように注意しましょう。採蜜時に装置が動かなくなる可能性があります。

詳細は以下をご覧ください。

www.honeyflow.com/troubleshooting-bees

キーアクセスまたは蜜といのキャップが外れない

フローキーで取り外してください。

フレームを開けるときにフローキーが回らない

巣房はハチによって蜜蝋で封をされています。この蜜蝋が非常に硬くなりキーがなかなか回らなくなることがあります。より楽に回すために、一度にフレームの一部を開けることができます。フローキーを下部スロットの途中まで差し込んで回します。それからキーをもう少し深く差し込んで回します。完全に開くまでこのプロセスを繰り返します。

Flow Frameを開けてもハチミツが流れてこない

フローキーが下部スロットに差し込まれていることを確認してください。垂直になるようにキーを90度回します。ハチミツが流れ始めるまでこの状態にしておきます。蜜蝋が硬くて巣板が開くのにかかる場合があります。キーを垂直の位置に回して1時間以上そのままにしておきましょう。それでも流れてこなかったら、ハチミツが結晶化しているかもしれません(以下のポイントをご覧ください)。

ハチミツがFlow Frame内で結晶化している

ハチミツがFlow Frame内で結晶化している場合、2つの選択肢があります。

1. ハチが結晶を取り除くのを待つ: 採蜜しようとする巣板が荒れます。ハチは結晶化したハチミツを取り除いて巣板を修理します。
2. 自分で取り除く: フレームを巣箱から取り出して徐々に温める必要があります。以下をご参照ください。

www.honeyflow.com/faqs

キーアクセススロットにキャップがはまらない

キャップはフレームが適切にリセットされている場合にのみはめ直すことができます。フローキーを上部スロットに差し込み90度回したらキーを取り外してキャップをはめます。

アリがFlow Frameによってくる

- 採蜜後、こぼれたハチミツをすべて温水できれいにしましょう。
- 蜜といキャップを外し、必要であればキッチン用の串やワイヤーで逆流ギャップをきれいにしハチミツが巣箱に逆流するようにします。
- 窓カバーの後ろにシナモンパウダーをまいてアリを防ぎます。スタンドの上に巣箱を置いているのであれば、脚を水に入れることでアリが巣箱に上るのを防ぎます。

採蜜時以外にハチミツが蜜といにある

初めてハチがFlow Frameに入ったとき、ハチミツがいくらか蜜といに漏れてくる場合があります。逆流ギャップが塞がれている場合、巣箱に逆流させることができません。定期的な巣の点検時に蜜といキャップまたは蜜チューブを使って逆流ギャップをきれいにし、このようにして漏れたハチミツをハチがなめられるようにしましょう。

採蜜時にハチミツが漏れる

- 採蜜中に巣箱内で少量のハチミツがフレームから漏れるのは珍しいことではありません。余分なハチミツは、たとえ巣箱の底まで達していたとしてもハチが片付けてくれるため、これは通常問題にはなりません。
- 採蜜前に、Flow Frameにすべてふたがされており採蜜の用意が整っていることを確認しましょう。
 - 底板の上部スロットにブラ段スライダを設置しハチがこぼれたハチミツをすべてきれいにできるようにしましょう。
 - 蜜チューブとそのタブがしっかりと正しく蜜逆流ギャップに差し込まれていることを確認しましょう。
 - 蜜の取り出し口に向かって巣箱が傾斜していることを確認しましょう。
 - 蜜チューブを容器につなげた場合、容器から空気が抜けるようにしてください。容器が密閉されている場合、ハチミツがチューブを逆流し、蜜といの端から巣箱にあふれ出ます。

Flow Frameがバラバラになった;

www.honeyflow.com/assembly

ブレードがきちんと並んでいない、または曲がっている



ASSEMBLY VIDEOS



honeyflow.com/assembly

BEGINNER VIDEOS



honeyflow.com/beginner-videos

MEET THE BEEKEEPER



honeyflow.com/mtb

Join our global beekeeping community
forum.honeyflow.com



Stay up to date on facebook
facebook.com/flowhive




Fall in love with bees on instagram
@flowhive



Check out our videos at
YouTube.com/flowhive



Tweet stuff at us on Twitter
@flowhive

All content copyright © 2017 Flow. Printed on 100% recycled paper using environmentally friendly inks. 



608766910313